

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
嵐山北部地区

平成27年3月

埼玉県嵐山町

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	災害時の避難場所や避難路に対する満足度	%	9.2	20.0	30.0	確定 見込み	○ ●	あり なし	30.5	H26年11月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	給食調理場(給食センター)や役場質機内の防災倉庫、防災広場整備など防災施設整備を行った。さらに長年課題となっていた幹線道路の歩道整備や生活道路事業により、安全・安心に避難する避難路も整備されたことにより満足度が目標を大きく上回った。
指標2	主要県道へのアクセス時間	分	11	8	8	確定 見込み	● ○	あり なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	町道1-8号整備が整備され、利便性が大きく向上し快適なまちづくりに寄与した。隣接町の滑川町部分の道路整備も平成26年度に施工中であり、滑川町部分が共用開始すれば、更に利便性が向上する。
指標3	里山への参加ボランティア数	延べ人数/年	0	250	66	確定 見込み	○ ●	あり なし	124	H25年3月	×	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	里山保全の自主的な活動日数は年間52日に達しているなど、先進的な取り組みをしている地域である。設定した目標値の見込みが大きすぎたため、目標を達成できなかったが、活動延べ人数は大幅に増加した。
指標4						確定 見込み		あり なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	なし					確定 見込み				H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2						確定 見込み				H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3						確定 見込み				H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	防災活動の支援	・自主防災組織支援事業	・各自主防災組織に対し、防災倉庫の設置や資機材の購入補助を行っている。その結果、各自主防災組織の自主的な防災訓練が活発に実施されている。	・有事においては、地域の防災リーダーが特に必要であり、育成が課題となっている。
	安全安心パトロールの支援	・自主防犯団体によるパトロール及び地区の通学・下校時の児童への見守り活動	・自主な地域パトロールにより、嵐山町の平成19年の刑法犯発生認知件数が305件から平成25年は147件と激減した。	・町の高齢化が進んでおり、(平成27年2月現在高齢化率28.6%)、今後パトロール活動の維持が課題となっている。
	里山公園の維持管理	・自然緑地管理活用事業	・ボランティアによる里山保全活動が進んでおり、本整備により里山保全活動の推進の効果があつたとアンケートで回答した方が38.5%もいるなど、効果があがっている。	・町有の里地里山公園の保全活動は活発化しているが、手入れが行き届かない民地の山林が年々増加してしまっている。治水・治山等の環境保全のための対策が課題となっている。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	国指定史跡の活用	・杉山城跡公有地化事業	・山城の教科書として高い評価を得ている杉山城跡が平成20年に国史跡に指定された。歴史的資産を後世に残すため、公有地化を行い、隣接地に駐車場等を整備する予定である。郷土の歴史を再認識する事業として広く周知している。	・嵐山町は、木曾義仲公生誕の地であり、畠山重忠公が居住された地と歴史的なまちである。今後さらにその地の利を積極的に活かしたまちづくりを行っていくことが課題となっている。
	企業の誘致	・企業誘致事業	・本地区の関越自動車道嵐山小川インターチェンジのランプ内及び周辺エリアは物流・工業系の土地利用を図っていく場所となっている。平成26年3月に企業誘致条例を制定し、積極的に誘致を行っている。	・地権者との協議もあり、問い合わせはあるようであるが、実際の立地までには至っておらず、企業の立地が課題となっている。
	交通安全対策	・道路整備事業	・本地域内の町の幹線道路においては、歩道整備が進んでおり、本町においては、平成23年2月8日以来交通事故死亡ゼロが続いている。	・本地域内の県道深谷嵐山線において、カーブがきつく危険箇所があり、その解消を埼玉県に要望しており、その解決が課題となっている。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
地区内の里地里山地域の適正な維持管理の促進	・当地区内の民間の山林に対し、里山の下草刈等を行う事業が実施された。 ・実績は、平成24年度は3.8ha、平成25年度は5.9ha、平成26年度は3.4haで計13.1haとなった。	平成24年度から	里山の下草刈などの保全活動は一度ではなく、継続的に行うことが必要である。しかし、地権者の高齢化が進んでおり、継続的に里山の維持管理を行うことが課題である。